

テモ蹴殺シテ(注意)吾々労働者ノ血ト肉トシテ物盗シ誅敷スル資本家ハ吾々ノ敵テ
アル吾々ハ會ニテ微弱ナリト雖モ燃ニレ血ハ同一デアル故ニ吾々ハ大同團結シテヨリヤ
生活ヲサヤンケガ為メニ突進シテテ彼等資本家ノ毒ヲ毒ラネハナラヌ

王子電鉄會社カ如何ニ頑迷ニシテ重役連ニ誠意ナキカハ判明シテ吾々自治會員
一五五午ノ精氣カ血ト肉トシテ以テ之レニ當ラネハナラヌ或ハ之(鉄拳ヲ示ス)カ飛テ
ヤズ知レズ(注意)今回ノ鐵首問題ハ等ニ四名ノ生命ニ懸ルモノデナリ、全無主座
階級ニ對スル侮辱デアル故ニ吾々ハ團結シテ會社否資本家ニ對抗セバナラヌ、

市電從業員自治會 田中房雄

守備ニ存在スル凡ソ生物カヨリヨリ生キトスニ對シテ妨害スル奴ニ及ビ逆スルハ必然ノコ
トアル(注意)改州大毅以未資本主義ハ正ニ格闘シテ擧業シテ居テアルニ地
下一千尺ノ中ニ働イテ居ル能ハシク労働者モ均等ニ工場ノ中ニハシクモテテハニ働方物
畜ニ難ク労働者ハ加テ中ノ働方交通シカ労働者モ擧業シテ居テ資本家ノ鉄拳ニ依テテハ
自由ヲ未得セラレテ居ル吾々労働階級ハ此ノ擧業ハ資本家ノ毒ヲ撲滅シ合
理的ニシテ労働者ノ社會ヲ建設スルヲメニ我輩ニ主テ示ハナラヌ云々、

(以上)

王子電鐵の従業員 不當鐵首問題に就いて

王子電鐵會社は、曩に我が自治會に加入せる従業員に對し
豫告らしい豫告も發せず、警告らしい警告も與へず突如其
の生活權を剝奪してしまつた、此の狂暴に對して我が自治
會員並に王電の従業員は沸烈色をなし將に容易ならざる事
態を醸さんとしたのであるが、少く共交通労働者の使命を
知る吾々は能ふべくんば平穩裡に此の問題を解決して社會
公衆に對し迷惑を及ぼしたくないこの念願から會社當局に
對して修理を盡して鐵首従業員の復職を要請したのである
然るに會社當局の態度は實に無責任無誠意であつてさらに
我等の言葉を聽容れぬのみか、我が自治會一否全労働階級
に應ずる挑戰的態度を取つて憚らぬのである。

太田政弘

吾等は徒に事端を好むものではない然し振りかゝる火の子
は當然拂はざるを得ない。
一切を擧げて公正なる社會批判の下に頑迷なる會社當局を
徹底的に糺彈せんと欲するものである。

十月二十三日

日本交通労働總聯盟 市電從業員自治會

佐問題ニ關スル件下
(第ニ部)